

## 平成25年度 都市景観大賞について

城下町長府地区が **山口県内で“初”**の都市景観大賞『都市空間部門』を受賞

都市景観大賞の沿革 / 平成3年～

主旨 / 都市景観の日実行委員会により、良好な都市景観を育むため、互いに協力し合い、工夫を凝らした意欲的な実践に、ともに取り組むことを広く呼びかけ、その一環として都市景観大賞を実施している。

都市空間部門 / 街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を募集  
景観教育・普及啓発部門 / 景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等を地域に根ざして行っており、その取り組みが地域の人々の景観への意識・関心の高揚に繋がっている優れた活動を募集

### ■審査結果

#### ①「都市空間部門」“大賞”（国土交通大臣賞）

対象地区：城下町長府地区

受賞者：城下町長府景観協議会 会長 安岡克昌  
下関市長 中尾友昭

応募件数：19件

応募概要：

地区名称／城下町長府地区

地区の範囲／長府金屋地区ほか3地区及びその周辺地区 概ね51.8ha

地区概要／行政によるまちなみ環境整備事業の実施及び平成7年の地区住民による景観協定締結等により、城下町長府にふさわしい街なみ景観が形成された。地区内及び地区周辺では、この空間を活用して多彩なイベント開催やホタル保存等維持管理活動が行われている。

アピールポイント／

- ・景観法に基づく景観計画区域であり、下関市景観計画上、景観形成地域又は景観重点地区の候補地となっている。
- ・国土交通省と下関市による街なみ環境整備事業を活用し、景観の保全・創出を図った地区である。
- ・地区住民が主体となって景観協定を締結している。
- ・城下町長府景観協議会を設立し、新たな景観形成への取り組みが始まった。
- ・地域住民や団体等により、ホタル保存プロジェクトやライトアップイベント等、多彩な活動を実施している。



※その他の大賞

- ・八条ヶ池周辺地区（京都府長岡京市）  
地区面積：約12.81ha 応募者：中岡京市
- ・熊本駅周辺地区（熊本県熊本市）  
地区面積：約63.2ha 応募者：熊本県・熊本市・熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議

#### ②「景観教育・普及啓発部門」“大賞”（国土交通大臣賞）

活動名称：関門地区（北九州市・下関市）景観ウォッチング&セミナー

受賞者：(公社)福岡県建築士会北九州支部、(一社)山口県建築士会下関支部  
関門景観協議会（下関市・北九州市）

応募件数：18件

応募概要：

団体の構成／全体人数726人（構成：建築士710人、市長2人、行政職員14人）

活動概要／

- ・活動目的・・・地元で建築関連業務に従事している建築士として、魅力ある関門景観の形成に向け、両市の支部が連携・協力して活動している。
- ・活動内容・・・関門地区の景観について毎年テーマを設け、両市の建築士会が協働でウォッチングやワークショップを開催している。平成23年には関門景観条例制定から10年という節目を記念して「五感で感じる関門景観10選」を公募し、ハンドブックの作成やパネル展を開催した。

アピールポイント／

関門地域の景観は、北九州市と下関市の両市民はもとより、全ての人々にとってかけがえのない共通の財産である。両市の建築士会は、建築実務に携わるものとして、この関門地区の景観を守り・育て・創り・将来に継承していくための活動を関門景観協議会と連携して行っている。

※その他の大賞

- ・子供が参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト（宮城県仙台市）  
応募者：建築と子供たちネットワーク仙台

### ■表彰式

平成25年 6月14日（金）「まちづくりと景観を考える全国大会」（東京）にて

### ■受賞報告会

平成25年 6月21日（金）13:00～ 長府毛利邸にて受賞報告会を開催（予定）

### ■過去の主な“大賞”受賞状況

- 平成23年度 神奈川県横浜市 『日本大通り・象の鼻地区』  
兵庫県神戸市 『ガーデンシティ舞多間みつけプロジェクト地区』
- 平成22年度 岡山県倉敷市 『倉敷美観地区』
- 平成19年度 福岡県北九州市 『紫川マイタウン・マイリバー整備地区』